

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
大事業	001	環境衛生事業				
中事業	01	環境衛生事務事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	無				
根拠例規	有		公衆浴場基準条例		
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	公衆浴場業の健全な運営確保および市民の利便性の確保と公衆衛生の向上を図ります。
実方手法手段・	公衆浴場の施設整備にかかる経費に対し助成をし、公衆浴場の運営を支援します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	849	2,953	4,147
	人件費	1,813	5,829	5,829
	総事業費	2,662	8,782	9,976
人員	正職員	0.27 人	0.82 人	0.82 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.27 人	0.82 人	0.82 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,662	8,782	9,976

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	補助を受ける公衆浴場の数	軒	目標	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	0.00
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進につながり、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図りました。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	この事業は県の補助事業に該当するものに対して実施しており、設備の改修等は公衆浴場の経営及び衛生上不可欠です。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	市内に補助対象となる公衆浴場は1軒であり、現状維持が精一杯という状況であるため、当面は継続とし、県が補助制度を廃止するか、公衆浴場がなくなるときに廃止を検討します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	03 環境衛生費
大事業	101	狂犬病予防事業				
中事業	01	狂犬病予防事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	狂犬病予防法			
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	県から事務委任されている畜犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等事務を通じて狂犬病の発生と蔓延の防止を図ります。
実施方法手段	接種率の向上と飼い主の利便性向上のため、毎年4月から5月頃に巡回により集団予防接種を実施しています。また、集団予防接種以外の登録及び予防接種は(社)福井県獣医師会に委託し事務の効率化を図っています。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,343	1,091	1,081
	人件費	5,303	6,469	6,469
	総事業費	8,646	7,560	7,550
人員	正職員	0.79 人	0.91 人	0.91 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.79 人	0.91 人	0.91 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	2,313	1,091	1,081
	一般財源	6,333	6,469	6,469

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	狂犬病予防注射接種率	%	目標	70.0	70.0	70.0	70.0
			実績	68.8	69.3	68.0	66.6
			達成率(%)	98.29	99.00	97.14	95.14
指標の説明							
活動	畜犬登録件数	件	目標	350	350	350	350
			実績	230	263	261	341
			達成率(%)	65.71	75.14	74.57	97.43
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		狂犬病予防接種の啓発について継続的に行い、動物病院との連携を密にし、個別接種の利便性を広く周知し接種率向上に努めています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	接種率の向上及び登録数の正確な把握のため、新たな施策を検討します。	
これまでの見直しや改善等の実績	広報等により未接種者に対し接種を呼びかけています。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		拡充	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	メモリアル給付金事業を平成29年度よりスタートさせ、狂犬病予防注射の接種及び死亡届出の促進を図ります。また秋にも集合注射日を設け、狂犬病予防注射の未接種者に対し接種を呼びかけ、接種率向上を目指します。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費
大事業	001	公害対策事業				
中事業	01	公害対策事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-3	公害対策の推進		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境関係諸法令			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例			
関連計画・マニフェスト	有	坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	大気や水質等の調査分析、協定事業所等との協定項目を定期的、継続的に調査分析することにより、公害の未然防止と市民の健康で安全かつ快適な生活を確保します。
実施手法等	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止協定を締結している事業者に対し、協定値の順守確認を行う。 公共用水域・大気などの測定、監視を行う。 苦情の通報があった場合は、現場確認の上、改善への対応を行う。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	7,283	17,193	8,203
	人件費	5,706	6,114	6,044
	総事業費	12,989	23,307	14,247
人員	正職員	0.85 人	0.86 人	0.86 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.85 人	0.86 人	0.86 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	1,159	5,600	1,889
	一般財源	11,830	17,707	12,358

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	環境保全項目達成率	%	目標	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績	98.1	97.4	100.0	100.0
			達成率(%)	98.10	97.40	100.00	100.00
成果	指標の説明 河川水質の環境保全項目の達成率						
指標	苦情調整件数	件	目標				
			実績	53	102	80	21
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
指標	立入調査企業数（排出規制）	社	目標				
			実績	42	42	43	52
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
活動	指標の説明 公害防止協定に基づく協定項目の分析調査に伴う立入企業数						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標に基づく評価 河川水質の環境保全項目を全て満たしていないため、上流の調査など達成できなかった原因の追究を検討します。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない
	現状では、大きな公害となるようなものは確認されていないため、コストおよび人員の大幅な増はありません。
これまでの見直しや改善等の実績	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	今までの基本的な公害だけでなく、光公害など、新たな公害も発生してきており、対応についての調査や研究が必要となってきています。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費
大事業	051	環境保全事業				
中事業	01	環境保全事務事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管 部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	環境基本法			
根拠例規	有	坂井市環境基本条例			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	環境基本条例に基づく、基本的重要な事項の審議および環境保全全般にわたる施策の円滑な推進を図ります。また、環境保全に関する協議団体へ加入することにより、県民が一体となった環境保全運動の実践を図ります。
実施手法等	市の環境の保全に係る事案や、将来的な環境保全に関しての事案を審議会で協議し、市政に反映させます。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	100	184	404
	人件費	4,028	2,062	2,038
	総事業費	4,128	2,246	2,442
人員	正職員	0.60 人	0.29 人	0.29 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.60 人	0.29 人	0.29 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			50
	一般財源	4,128	2,246	2,392

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	市町環境連携事業	申請数	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	1
			達成率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00
成果	指標の説明 環境ふくい推進協議会が補助している事業への申請						
指標	環境審議会開催回数	回	目標	2	2	2	2
			実績	0	1	2	2
			達成率(%)	0.00	50.00	100.00	100.00
活動	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標	指標の説明						
指標に基づく評価	28年度については、環境審議会に附すべき案件がなかったため、開催しませんでした。案件がなくとも、審議会を開催し、坂井市の環境保全の現況等の報告や問題とすべき案件がないかどうかの協議していく必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	直近の問題である案件を審議会の案件としていることが多いが、将来的に問題となってくるような案件についても審議会で協議する必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	将来的に問題となってくるような案件について、審議会で協議し、市としての環境に関する方向性を見出す必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費
大事業	101	環境基本計画推進事業				
中事業	01	環境基本計画推進事務事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	環境基本計画を推進するため、環境保全団体への活動支援、環境教育講座の実施などによって市民の環境に対する意識向上と保全活動の広がりにつながる事業の推進を図ります。
実施手段等	<ul style="list-style-type: none"> きれいな空気を確保するために野焼き防止の啓発およびパトロールの実施。 不法投棄防止のための啓発およびパトロール。 自然環境保全のために外来生物の駆除。 環境モラルおよび環境知識の向上のための環境学習の開催。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,022	1,397	2,247
	人件費	6,713	6,043	6,043
	総事業費	7,735	7,440	8,290
人員	正職員	1.00 人	0.85 人	0.85 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	1.00 人	0.85 人	0.85 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	7,735	7,440	8,290

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	成人向け環境講座の開催	回	目標	3	3	3	3
			実績	4	3	1	1
			達成率(%)	133.33	100.00	33.33	33.33
指標の説明							
指標	子ども向け環境出前講座の開催数	校	目標	4	4	4	4
			実績	9	4	8	5
			達成率(%)	225.00	100.00	200.00	125.00
指標の説明							
指標	不法投棄・野外焼却パトロール回数	回	目標	8	8	8	8
			実績	6	5	5	3
			達成率(%)	75.00	62.50	62.50	37.50
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
成果	概ね達成されていますが、目標にこだわらず、目標以上の成果をあげられるような内容や回数などを見直し、さらなる推進を続けます。						
指標に基づく評価							

5. 事業に対する評価

現状と課題	妥当性に課題	
	環境基本計画を推進していくためには、環境モラルの向上が不可欠であり、一人ひとりの自らの行動が環境を良くも悪くもすることを実感してもらえよう工夫していきます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成35年度	
方向性の説明	30年度における環境像の実現に向けて、各種施策の取り組みを行っているが、最終年度に向けて、環境基本計画の達成状況や、現状に合った計画であったかなど、点検、見直しを行い、次の環境基本計画の策定へ繋げていきます。また、エコアクションさかいの補助事業を通じて、環境リーダーとなる活動団体の育成し、環境教育の裾野を広げていきます。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費
大事業	101	環境基本計画推進事業				
中事業	06	地球温暖化防止対策事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部 環境推進課
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	エネルギーの使用の合理化に関する法律			
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有	省エネルギー管理中長期計画、坂井市環境基本計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	市自らが率先して地球温暖化防止に取り組むとともに、市内事業所及び市民に広く地球温暖化に関する情報提供とその対策について周知、啓発していくことで市内から排出される温室効果ガス排出量の削減を図ります。
実方手法等段	<ul style="list-style-type: none"> 改正省エネ法に基づくエネルギー使用量を国に報告するとともに、結果について共有を行う。 地球温暖化防止策についての方法の周知や呼びかけを行う。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	4,684	3,344	5,517
	人件費	4,363	4,976	4,976
	総事業費	9,047	8,320	10,493
人員	正職員	0.65 人	0.70 人	0.70 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.65 人	0.70 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	3,996		
	一般財源	5,051	8,320	10,493

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	市民一人当たりの年間CO2排出量	t	目標	1.9	1.9	2.3	2.3
			実績		1.9	2.1	2.3
			達成率(%)	0.00	100.00	92.17	99.57
指標の説明		総務省の統計結果を基に市民一人あたりの排出量を算定					
指標	市長部局エネルギー消費量削減(対前年比)	%	目標	-1.0	-1.0	-1.0	-1.0
			実績	1.9	-5.0	-6.0	-1.6
			達成率(%)	-190.00	500.00	600.00	160.00
指標の説明		環境省が推奨している国民運動の事業者の賛同数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	28年度の市民一人当たりの年間CO2排出量に関しては、電力の自由化により、元データを北陸電力からもらえなくなったため、実績値算出できませんでした。市長部局エネルギー消費量削減の大幅増については、コミュニティセンターが移管されたための影響が含まれています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	地球温暖化防止の必要性をさらに訴えていき、市民が自発的に取り組んでもらえるような仕組みづくりが必要です。また、市の施設に関して、さらに省エネの取り組みを実践・継続するよう呼びかけていきます。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	市民への地球温暖化防止についての必要性を呼びかけるとともに、民間企業における再生可能エネルギーに関して、調査、研究をしながら、市としてどのように関わっていくか検討していく必要があります。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 環境保全費
大事業	101	環境基本計画推進事業				
中事業	11	環境美化事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-1	自然環境の保全と共生		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニフェスト	有		坂井市環境基本計画		

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	自然豊かな環境を将来に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者等と情報を共有し連携しながら、身近な環境保全への取り組みや美化意識の醸成を図ります。
実施手法等	・環境月間の6月に「坂井市クリーンキャンペーン」として、市内全域一斉に清掃活動を行います。また、3月には、河川の清掃活動を実施します。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,005	748	177
	人件費	3,424	6,754	7,464
	総事業費	4,429	7,502	7,641
人員	正職員	0.51 人	0.95 人	1.05 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.51 人	0.95 人	1.05 人
財源内訳	国県支出金	197		
	その他特定財源	50		
	一般財源	4,182	7,502	7,641

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	河川クリーンキャンペーン参加者数	人	目標	2,000	2,000	3,000	1,000
			実績	1,940	2,000	2,000	2,000
			達成率(%)	97.00	100.00	66.67	200.00
指標の説明							
指標	クリーンキャンペーンの参加者数	人	目標	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績	9,031	10,682	9,571	7,627
			達成率(%)	90.31	106.82	95.71	76.27
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		概ね、目標は達成されているが、さらに、多くの方々に参加してもらい、環境美化意識の醸成が図られるよう努めます。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	公共地のゴミや河川のゴミの清掃も大切であるが、元々のゴミ発生源を食い止めなければ、環境美化は保つことができません。ゴミはゴミ箱へ、公共地や川へのポイ捨てはしないような啓発をしていく必要があります。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	HP、広報紙、その他媒体の積極的活用を行い、参加人数の参加者数のさらなる増大を目指します。また、河川ゴミについては、現状を写真などで周知し、河川へのポイ捨てを防止できるような対策を行います。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	01 塵芥処理費
大事業	001	一般廃棄物収集処理事業				
中事業	01	一般廃棄物収集処理事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	一般廃棄物の適正な分別、収集、運搬、処分等により、公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図ります。
実施手法等	一般廃棄物処理基本計画の改定に沿った、ごみ減量化の取り組み等を市民や事業者等に周知していきます。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	787,907	934,955	861,867
	人件費	13,695	24,242	24,242
	総事業費	801,602	959,197	886,109
人員	正職員	2.04 人	3.41 人	3.41 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.04 人	3.41 人	3.41 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	159,902	159,908	155,584
	一般財源	641,700	799,289	730,525

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	市民1人1日あたりごみ排出量	g	目標	808.0	808.0	846.0	846.0
			実績	881.0	879.0	896.0	886.0
			達成率(%)	109.03	108.79	105.91	104.73
指標の説明							
活動	リサイクル率	%	目標	27.0	23.0	23.0	23.0
			実績	12.3	12.9	13.8	14.5
			達成率(%)	45.56	56.09	60.00	63.04
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	リサイクル率は、市が直接回収したもののみを対象として算定しており、民間リサイクル業者が直接収集したり、小売店における店頭回収された資源ごみは考慮されていません。そのため、リサイクル率を適正に評価するため、民間回収を含めた算定を行い評価する手法を検討する必要があります。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	事業所に対して自己責任による資源ごみの分別を促すことにより、ごみの減量やリサイクル率の向上を図ることは可能です。特別集積地における事業所の取り扱いについて、民間収集業者との相対契約による収集に切り替えていくことでコスト削減することは可能です。	
これまでの見直しや改善等の実績	家庭系ごみの組成調査を実施し、燃やせるごみとして排出されていた雑がみをリサイクルするため、市民が参加しやすいリサイクルシステムを構築しました。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	一般廃棄物処理基本計画の改定のなかで、見直しを行ったごみ減量に関する目標値を達成するための様々な施策の具体的実施方法について取り組みます。また事業系一般廃棄物の処理手数料について見直しを行います。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 し尿処理費
大事業	001	し尿処理事業				
中事業	01	坂井地区広域連合事業（環境衛生）				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（義務的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	し尿及び浄化槽汚泥の適正な収集、運搬、処分等の処理を行う。汚泥再生処理施設さかいクリーンセンター等の運営経費、周辺地域整備助成に対する坂井市の負担金。
実方手法手段	事業運営している特別目的会社に対し、モニタリング機能を生かしながら適切な運営を行います。

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	67,885	66,388	77,173
	人件費	1,343	1,066	1,066
	総事業費	69,228	67,454	78,239
人員	正職員	0.20 人	0.15 人	0.15 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.20 人	0.15 人	0.15 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源	2,010	1,878	1,804
	一般財源	67,218	65,576	76,435

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	し尿処理量	k l	目標	9,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0
			実績	8,779.0	9,316.0	9,738.0	9,793.0
			達成率(%)	97.54	93.16	97.38	97.93
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	設計・管理の段階から一貫した方式が採用された施設であり、施設の維持管理や運営についても特別目的会社（SPC）が行っています。また、広域連合という広域的行政がいろいろな業務と一緒に役割を担うことにより、人的・経費的に効率化が図られています。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	施設の維持管理や運営は特別目的会社（SPC）が行うことにより、モニタリング機能が強化されています。	
これまでの見直しや改善等の実績		

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度			目標年度		
方向性の説明	し尿処理業務は、公衆衛生上からも公衆性が高く、市が実施すべき業務です。しかし、業務においては、専門業者に運営を委託することにも必要性があります。公共下水道の普及により、水洗化率が進んでいますが、未普及地区も残存しています。公共下水道の受益を受けられない市民及び地域の環境や生態系の影響、公衆衛生上からも必須の業務です。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	04 衛生費	項	02 清掃費	目	02 し尿処理費
大事業	001	し尿処理事業				
中事業	06	浄化槽設置整備補助事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	5	美しい自然と共生するまちづくり	所管部局	産業環境部
	基本計画	5-2	循環型社会の構築		環境推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	補助金事業（事業補助）	
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法			
根拠例規	有	坂井市下水道区域外における合併浄化槽設置整備事業補助金			
関連計画・マニュアル	無				

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	合併処理浄化槽の設置推進により、下水道区域外及び農業集落排水処理区域外において生活排水による河川等の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的としています。
実施方法等	申請に基づき補助金を交付。 住宅用途の建物に設置する場合、補助対象経費の5分の4以内の額と要綱に規定する別表1に掲げる各人槽区分ごとの補助限度額を比較して少ない方の額。 住宅用途以外の建物に設置する場合、補助対象経費の5分の3以内の額と要綱に規定する別表2に掲げる各人槽区分ごとの補助限度額を比較して少ない方の額。

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	1,586	528	
	人件費	1,343	355	
	総事業費	2,929	883	0
人員	正職員	0.20 人	0.05 人	人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	人
	人員計	0.20 人	0.05 人	0.00 人
財源内訳	国県支出金			
	その他特定財源			
	一般財源	2,929	883	0

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	合併浄化槽の設置補助件数の実績	件	目標	1	2		
			実績	2	1		
			達成率(%)	200.00	50.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価		補助金により設置者の負担が軽減され、生活排水処理が促進されることは、生活環境の保全に結びついています。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	課題はない	
	少子・高齢化は、長期に渡ることが確定的であり、人口の急激な減少は避けられません。このような現状では、建設、維持管理に多額の費用を要する大規模な処理施設が必要な集合処理より、個別に設置、廃止することが容易な合併浄化槽設置の推進が必要です。	
これまでの見直しや改善等の実績	事業所については、水質汚濁防止法により必要な措置を講じるように義務付けされています。また新築の住宅についても、建築基準法により合併浄化槽の設置が義務付けされているため、平成29年度より補助対象外としました。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成33年度	
方向性の説明	計画区域外の住民の負担と区域内の住民の負担との公平性を図るため、今後も継続とする。				